

あっという間に梅雨明けですね。真夏の太陽が6月に降り注ぐとは思ってもみませんでした。

4月に始まった研修も3か月が過ぎました。1年目、2年目の先生もそれぞれに自分のリズムでものごとを進められるようになってきています。

さて、研修医の指導を行うにあたって、厚生労働省からは研修管理委員会の開催が求められています。院内外の委員に来ていただいて毎年行っていますが、先日今年度第1回の会議を行いました。

研修の現状報告や来年度以降のリクルート方針、また8月に行われる試験の日程や内容などを決めていますが、今回の会議では次回の研修プログラムに盛り込む働き方改革に関する議論が（落としどころ無いのですが）行われました。

臨床研修をスムーズに行うためには、様々な問題を抽出して対応することが必要ですが、日々に紛れて見落としてしまいがちです。若い先生がしっかりと研修ができる環境を整えるには、研修医の先生と一緒に改善点を探す必要があるのでしょうか。

3か月間と言えば、救急科の最初の研修タームが終わりました。1年目に当院の救急科を回るのは、結構大変だと思います。集中治療から退院調整やケースワークまで、入り口から出口までを学ぶことは勉強になるでしょう。でも1年目にはちょっと重荷なのはよくわかっています。一方で救急研修はできれば1年目に実施してほしいという厚生労働省の方針もあります。うーん。

救急外来当番は、救急科以外の研修医で回しているのですが、walk-inの患者さんを見るのは初めてになりますね。頑張ってください。



救急科研修、お疲れ様でした。後姿が寂し気に見えます。来年また回ってもいいですよ。